

## 2016年度 oniビジョン番組審議会議事録

1、日時 2017年3月8日 午前11時～午後1時

2、場所 岡山シティホテル厚生町

3、委員の出席

海野節子委員、清水修委員、内藤康裕委員、長門修二委員、  
西谷萬二委員、平田慎一委員、峰松妙委員、室義忠委員

4、会社側出席者

野崎誠二・代表取締役社長、平松一泰・専務取締役、富長一郎・統括本部長・兼放送部長  
吉井健二・放送部副部長、金子陽子・放送部課長、松本和之・放送部係長

5、審議

「oniビジョンわいど」、「岡山弁でえすき」、「うらじゃ・はだかまつり中継ダイジェスト」、  
「oniビジョン感謝祭」について、審議を行った。

6、議事の概要(委員からの意見)

海野委員)地域では少子高齢化が進んでいる。(御津ニュースは)学校の様子が見えるし、ほかのエリアのニュースも一緒に見ている。話題性に富み、バランスよく取材してくれている。(岡山市連合婦人会の立場としては)西大寺方面が手薄なのが残念。

清水委員)『輝くおかやま人』について、最近は隣人関係が希薄になっているが、よく地域の人のがわかる。地上波よりも深く掘り下げる必要がある。全国のケーブルに番組を放送したと説明があったが、他県の番組も流しているのか？ 地域の情報や全国の情報など、アクセントをつけた放送をすることも必要。

内藤委員)祭りのライブ中継が一番の強み。地上波ではできないこの方向性は大変良いこと。演奏会などの長時間放送も良いことだと思う。『うらじゃ中継』では団体の紹介も詳しくしたらいいのではないか。『岡山弁でえすき』の、特に街頭インタビューは面白い！方言が若い人になじみにくくなっているが、地域の固有の文化なのでよく見直して地域の一体感を高めてほしい。『ええとこ』も地域のきずなが深まるので良いが、地図をつけて紹介する地域がどこにあるのか分かるようにしてはどうか。どの番組も地域密着のつくりをしているところが良かった。

長門委員)地域のニュースを10分間から15分間に拡大してはどうか。地域の情報が分かるいい番組だと思う。冗談半分だが、地域では足守と高松が同じ枠で、他地域が単独の枠なのはなぜか、という声も聞かれるほど話題になっている。祭りなどの取材もよいが、過疎や限界集落など社会問題点も取り上げてはどうか。4月2日に第26回の足守洪庵桜まつりがある。ゲストとして招くさくらの女王とともに地域の情報として紹介してほしい。地域からoniビジョンへ伝えていくことも必要。oniビジョンと地域とのコミュニケーションが大切だ。

西谷委員)oniビジョンはもつと(視聴者を)増やしていく必要がある。私たちの地域も過疎、活性化する必要があるので。楽しいイベントの紹介をこれからもお願いしたい。

平田委員)私が住む建部はoniビジョンの普及率が高い。建部ニュースを見たときよく聞く。ケーブルテレビは地上波との差別化が必要。今日見た番組は面白かった。地域を盛り上げるため地元住民も知らないことを掘り起し、知らせてほしい。

峰松委員)建部は若い人や移住してきた人が頑張っている。『うらじゃ』『西大寺会陽』はライブ感や高揚感が伝わってよかった。はだかまつりは世界からも注目されている。ケーブルテレビならではの長時間放送はよいことだ。地域と子供をキーワードに(番組づくりに)取り組んでほしい。県議会や市議会もなかなか傍聴できないので良い取り組みだと思う。行政の情報をわかりやすく伝えることも必要だし、地域の話題に加えて時勢の話題も放送に入れていったらよいのではないかな。

室 委員)oniビジョンのスタッフはよくやっている。地域の魅力探訪の番組が楽しく、よく見ている。できれば新しい所を増やしてほしい。(取り上げる社会問題については)高齢者対象の詐欺に対する注意を呼びかけたり、注目されているこども園の問題に取り組んではどうか。(似たような番組では)警察官のインタビュー番組があるが、内容が堅くて伝わりにくいだけに、子どもやお年寄りにもよくわかる報道番組をつくってほしい。番組の名前やキャッチフレーズも重要。

以上